



さ さ き しん

佐々木 心 仙台市議会議員 三期

仙台市議会定例会報告

令和8年度予算 暮らしをサポートする補助制度のご案内

1 ストーマ装具^(※1)支給基準額の見直し

令和8年度予算で、支給基準額(消化器系)が8,800円から9,800円に、支給基準額(尿路系)が11,500円から12,500円に増額されました。政令指定都市の比較順位として、消化器系、尿路系ともに5位になる予定。

(※1)ストーマ装具(排泄管理支援用具)とは

ストーマとはギリシャ語で「口」を意味し、便や尿を排泄するためにおなかに造設した排泄口のことです。排泄口は腸や尿管をおなかの外に引き出してつくられます。面板(おなかに貼る部分)とストーマ袋(排泄物を溜める袋)で構成され、排泄物を溜める医療用品。一体型の「単品系(ワンピース)」と分かれている「二品系(ツーピース)」があり、ストーマの位置や生活習慣に合わせて選定します。

2 難聴高齢者補聴器購入費助成制度の創設

高齢者の認知機能の低下や、フレイル^(※2)等のリスクを低減し、健康寿命の延伸を図るため、補聴器購入の一部を助成する制度が令和8年度に新設。

対象	仙台市に住民登録がある65歳以上の方
聴力	両耳の聴力レベルが40デシベル以上70デシベル以下
助成額	市民税非課税世帯の方：上限40,000円 市民税課税世帯の方：上限20,000円 ※補聴器購入費の2分の1以内で、1人1回限り

◎耳鼻科の診断を受け、補聴器の使用が必要と認められた方(医師の意見書が必要)

◎仙台市内の認定補聴器専門店又は認定補聴器技能者がいる補聴器販売店からの購入に限ります(集音器は対象外)

(※2)フレイルとは

加齢に伴い筋力や認知機能、社会との繋がりなどが低下し、健康と要介護状態の中間に位置する「虚弱」な状態。適切な運動や食事、社会参加により健康な状態に戻る可能性(可逆性)がある段階

3 町内会支援が拡充!

コミュニティまつり助成として、令和8年4月から助成金を4,000円～5,000円増額予定です。現行は世帯数に応じ、30,000円～38,000円を補助。これを34,000円～43,000円の補助に増額。



町内会や連合町内会等が主催または中心となり、地域の連帯や地域振興などに寄与することを目的として実施しているコミュニティまつりの一層の振興を図ります。

4 U22スポーツ大会派遣等助成

学生年代以下(当該年度で22歳以下の者)に対する市外の大会への参加経費助成を拡充して、未来のトップアスリートへの支援を強化します!

強化内容

	現行 (選手1人当たり)	拡充後(22歳以下) (選手1人当たり)
国外開催	3万円(団体20万円)以内	5万円(団体30万円)以内 ※年度に2回まで申請可
国内開催	3千円(団体3万円)以内	1万円(団体10万円)以内



地元ニュース

あすと長町に信号機設置の実現に向けて!

あすと長町地区の皆様から要望があった新設信号機設置について、宮城県警と仙台市太白区道路課、佐々木幸士宮城県議会議員同席のもと協議を行いました。ヨークベニマルあすと長町店付近は隣接信号機まで150m以上あり、歩行者の方々に大変不便な状況でしたが、同店付近に「押しボタン式信号機」の設置を要望いたしました。信号機設置は県警、道路中央分離帯等は仙台市が所管しておりますが、県市連携のもと、地域の皆さまの声を「心」を込めて届けてまいります!



秋保エリア 286号線の整備が進みます!

幅員狭隘、線形不良区間があり、安全な通行に支障をきたしていることから、バイパス整備により、安全で円滑な交通を確保し、道路改良工事を実施しております。期待される効果として(1)車両通行の安全確保(2)緊急輸送道路としての機能強化(3)安全で安心な暮らしと利便性向上(4)防災機能の向上が挙げられ、令和11年度に完成予定。



1 青葉山に建設予定の複合施設について

- Q** 提案当初より増大している建設費。財政への不安がないのか伺う
- A** 社会情勢に応じた業務体制の抜本的な再構築、人口減少を見据えた公共施設の統合や縮小、税源涵養や民間資金獲得など徹底した財源確保など、総合的に取り組んでいく。(財政局長)
- A** 資材単価等の高騰が続くなか、行政サービスに支障がないよう、財源確保策の一つとして既存の基金等を活用するとともに、企業版ふるさと納税を複数年度に渡り活用可能とする新基金を設置した。また、事業費の精査や有利な起債の活用など、本市負担の縮減が重要で、本市が整備する意義や思いを市民や企業の皆様に伝えるよう、積極的に発信し続けていく。(文化観光局長)

ポイント 不安払しょくのために、具体的にどのように進めるのか財政局長に再質問。財政局長からは、文化観光局だけではなく、企業と連携が強い東京事務所や経済局とも深く連携して、全庁一丸となって取り組んでいくとの回答を受けました。

2 ジャイアントパンダ誘致を見送る決断

- Q** 誘致判断のため会議があったと聞が、どのような議論がなされたのか伺う
- A** 取り組みの経過状況の共有と、導入を前提に開催していた会議に替えて、誘致の現状に即した新たな連絡会を設置する。(建設局長)
- Q** 連絡会議はいつまでに設置するのか。会議の目的は何なのか
- A** 誘致検討から15年が過ぎ、誘致を前提にした会議ではなく、当初の目的の子どもたちが楽しめる事を重視して、新年度早々に関係局を集めて、一定の方向性を決める。誘致を見送る決断も含めて、会議を設置して結論付けを行う。(高橋副市長)

3 西公園屋内遊び場の駐車場台数

- Q** 利用者のニーズに満足できる整備計画となっているのか伺う
- A** 地下鉄の活用はもとより、子育て家庭の利便性を踏まえ、車で来る来館ニーズに対応するため、立体駐車場を整備する計画としている。アンケートの結果や、想定する定員規模や類似施設の状況などを踏まえ、現時点では**200台**を確保する必要があると考えている。(こども若者局長)



4 小学校給食費無償化

- Q** 無償化という大きな政策判断に深く感謝するが、市費を投じての完全無償化の決断に至った経過と郡市長の思いを伺う
- A** 「子育てがしやすいまち」を実感していただきたいとの思いから決断した。健やかな成長を支え、子育てと家庭の負担軽減を図るため、教育委員会とともに取り組んで行く。(郡仙台市長)
- Q** 市の負担は現時点で年間約10億円と試算しているが、財政面・運営面で、制度の持続可能性をどのように確保し、給食がおいしいと喜ばれる質の向上に向けた取り組みをどのように進めていくのか
- A** 国に対し物価高騰などを適時・的確に反映した交付金の基準額の設定を強く求めていく。併せて、食材の安定的調達や地場産品の活用を図り、日々の献立の工夫を重ね給食の充実に努める。(教育長)



5 客引き対策

- Q** 宿泊税2,000万円を充当しパトロールを行うとあるが、内訳と方向性を伺う
- A** 客引き行為等防止巡回パトロールで7,521万円を計上。パトロールは業務委託で実施。これまでも対策指導員が指導取り締まりを行ってきたが、業務委託による警備員常駐など、防止に向けた環境を作る。併せて、指導員の増員を図り、取り締まりの強化で根絶を目指す。(市民局長)

ポイント 東北一の歓楽街である国分町地区の活性化は、インバウンド誘致の観点からも非常に重要です。悪質な声掛け、ぼったくり、営業時間無視など、誰もが楽しめる街とは言えない状況です。治安悪化を防ぐ意味でも根絶に向けた早急な対策が求められております。
深夜帯(23時~翌2時くらい)への強化を強く求めた!!

6 5歳児健康診査について

- Q** 5歳児健診の導入目的と、モデル事業はいつから始まるのか
- A** 身体発達、運動及び言語能力など社会性が大きく伸びる時期に、発達特性等を早期に発見し、必要な支援につなげる事を目的としている。集中的に実施・検証・評価ができるよう、モデル事業は宮城野区一カ所で行う。2026年10月から12月に実施予定。(こども若者局長)



その他にも会派を代表して確認いたしました!

- 子育て関連予算の充実として第2子以降保育料無償化などを求め、今年9月から所得に関わらず第2子以降の無償化実施を確認いたしました。
- バス運賃改定に至った経緯と路線再編の取り組み方を確認。交通局の今後10年間の収支見通しを踏まえ、約30年ぶりに全体的に見直しが必要との見解。運転士不足も重なり、運行効率の向上を目指す路線再編が必要不可欠との回答を確認いたしました。

市民教育常任委員会 質疑事項抜粋

1 仙台市交通指導隊条例の一部を改正する条例に関して、高い倫理観を持って活動している隊員の皆様に感謝!

- Q 隊員が活動する上で、市当局としての様々な課題認識について伺う
- A 隊員の高齢化が進み、充足率が年々低下している事が大きな課題。(市民局担当課長)
- Q 町内会や民生委員などの任意団体の担い手不足の認識を伺う
- A 負担軽減という中で、業務自体を簡略化、デジタル分野を導入して、参加する裾野を広げていく。(市民局長)
- Q 担い手不足解消は限界に近い。若手活用を促進するためインセンティブを求める
- A 若者の参加は非常に重要なポイント。大学・専門学校や企業との繋がりを強め、「ガクチカ^(※3)」が問われる学生のニーズともマッチングしながら地域活動の裾野を広げていきたい。(市民局長)

(※3)ガクチカとは

「学生時代に力を入れたこと」の略称で、就活のエントリーシートや面接で最も頻出する質問。アルバイト、サークル、学業、留学など、具体的な経験を通して、取り組んだ動機、行動、困難の克服、結果、得た学びを伝え、人柄や能力をアピールします。

ポイント

交通指導隊の定員は仙台市全体で800人としているが、その積算根拠が不明! 仙台市において、どれだけの指導員が必要か再度検討するように改善を求めました!

2 生出地区の複合化施設整備^(※4)について

- Q 現状でのトータルの事業費を伺う
- A 14億4,409万円
- Q 備品等含め、地域の要望を汲み取った計画となるよう求めるがご所見を伺う
- A 新たに購入が必要となる備品に関しては、必要な予算確保に努める。(担当課長)
- A 様々な世代が集まる地域の拠点として、地域に愛されて親しまれる文化の拠点として育っていけるように、地域の皆さまとしっかりコミュニケーションを取りながら対応する。(市民局長)

(※4)生出地域複合化公共施設整備とは

老朽化が進行している生出市民センター等の建替え計画。建替えにあたっては、現在の生出市民センター等の隣地に新たな複合化施設を整備することとし、同跡地には隣接駐車場及び隣地公園施設を整備。当複合化施設については、「市民センター(老人憩の家スペース含む)」「保健センター」「診療所(内科)・薬局」「証明発行センター」の機能に加え、新たに「児童館」の機能を盛り込み、令和9年中央の開館予定。



生出地域複合化公共施設 完成予想図(イメージ)

予算等審査特別委員会 質疑事項抜粋

市民費

- Q 太白区役所の駐車場不足の改善を求める
- A 計67台分整備している。公共交通機関の利用を呼び掛ける対策をとっている。南側玄関工事終了後は平面駐車場が4台ほど増加。新年度には立体駐車場の適切な維持修繕に向けた対応をする。(太白区役所総務課長)
- Q JR長町駅周辺へ宿泊施設の誘致について伺う
- A 誘致に向けた可能性調査の予算を計上した。インバウンドや国際会議など要人にも対応できるホテルを考えるため、他都市の誘致実績の事例調査などを行う。(文化観光局理事兼次長) ※局を超えての関連質問
- Q 長町歩いて楽しい街並みづくりについて伺う
- A 今年度の賑わい創出社会実験では、リップルロード長町において芝生やテーブルセットを配置して活用を進めた。今後も様々なイベント開催を通じて、通路機能以外の活用方法を知っていただき、賑わいの拠点となるよう進めて行く。(まちづくり推進室長)
- Q 宮沢橋の完成時期と旧橋の解体について伺う
- A 開通時期は令和8年9月を予定。その後、旧橋は撤去作業を開始し、令和12年度末の撤去完了を予定している。(建設局道路部長) ※局を超えての関連質問

健康福祉費

- Q 障がい者アートの事業の目的や内容を伺う
- A 社会の障がい理解の促進と、活躍の場の拡大を目指し、官民連携による新たな事業として検討する。定禅寺通りをメインとして、建物の内外でアート作品を展示。個性あふれる作品に触れていただき、障がい理解を促進し、定禅寺通りの賑わい創出を図る。(健康福祉局障害福祉部長)
- Q 終活支援条例の活用について伺う
- A 本庁舎に窓口を設置する。終活に関わる相談を一元的に受け付け、情報提供や助言のほか、庁内外の窓口とも繋ぐ。(健康福祉局事業推進担当課長)

環境費

- Q 温室効果ガス削減設備導入支援補助金のマンションの管理組合への要件緩和
- A 事業活動からの排出削減を目的に、アクションプログラムに参加する中小企業者等の活動を後押しする補助を行っている。本制度の趣旨に鑑みると補助対象とすることは難しい。(環境局地球温暖化対策推進課長)

ポイント

マンション管理組合においても担い手不足が深刻化しており、維持・管理をしっかりと行えるよう、支援補助金などの制度の見直しを含め、今後も粘り強く訴えてまいります。

病院費

- Q ヘリポートを含めたドクターヘリの活用状況
- A 令和6年度、仙台市立病院への受入れ件数は15件。救急車と同様に患者の症状や救急病床の空床状況、医師の繁忙度等から受け入れの可否を判断。(仙台市立病院経営維持課長)

1 スクペイ^(※5)の更なる利用促進で 保護者負担軽減を図る!

Q システムを利用していない学校もあり、周知徹底は図っているか

A 学校に委任せず自ら集金しているPTAが48校ある。スクペイ開始に伴い各学校に対して説明を行ったが、従前からPTA会費の集金の委任を受けていなかった学校では、PTAに特段の周知を行っていなかった場合もあった。スクペイの利用は、保護者の利便性の向上と負担軽減にもつながると考えているので、さらなる事務軽減も図り、未利用の各学校に対して、PTAに説明の上、しっかりと周知して行く。(教長)



(※5)スクペイとは
令和7年度から利用開始された「学校納付金収
納管理サービス」の愛称。保護者の皆様がス
マートフォン等を使い、銀行口座から決済手
料を負担することなく学校納付金を納入できる
決済手段。集金などにかかる保護者の負担軽
減を図るサービスです。

2 ツキノワグマから市民を守る!

Q 出没情報の確実な周知を徹底すべき

A 市公式LINEやHPで出没情報や身を守る対策を広く発信してきた。各学校への安全確保に係る通知を行うとともに、出没時には、近隣学校へ周知し、保護者への連絡等も実施した。今後も関係機関と連携のもと、出没状況等に応じた車両巡回、児童への安全指導、保護者等への速やかな通知に加え、幅広くLINE等の利用を促す工夫も行うなど、被害防止に向けた周知の強化を図っていく。(環境局長)

Q 捕獲に重要な役割を担う猟友会へ負担軽減などの支援充実を求める

A 捕獲活動に必要な猟銃所持許可やわな免許取得など支援をしてきた。農作物の有害鳥獣被害対策を着実に実施していくためには、狩猟免許を有する人材の確保と育成が必要不可欠。今後、猟友会の御意見を伺いながら、仙台市鳥獣被害対策実施隊の体制が維持できるよう効果的な支援策について検討していく。(経済局長)

ポイント
仙台市鳥獣被害対策実施隊とは、宮城県猟友会支部に所属し、各支部長が推薦する者について任命し対象鳥獣の捕獲に従事しています。仙台市の非常勤職員として災害補償の対象となります。
一方、実施隊の組織されていない区域は、捕獲には猟友会があたるが、会の特性上、趣味の一環ということもあり、活動中の災害補償は自らが掛金を支払って捕獲にあたっております。銃の免許更新や活動中の実費など、実施隊と同等の保証がされる事をこれからも要望してまいります。

4 未成年も含めたケアラー全般に向けた支援!

Q (仮称)ケアラー支援条例制定は公約通り進めるのか

A ダイバーシティ(多様性)を推進する本市として、必要な時に支援を受けられる環境づくりが必要だ。ケアラー実態把握調査とその結果を踏まえた検討のための有識者会議の設置など準備を進める。必要な支援が受けられるケアのまち仙台の実現に向けて令和9年度中の条例制定を目指す。(郡仙台市長)

5 開園60年という 大きな節目の八木山動物公園

Q 施設長寿命化再整備計画と魅力アップの施策を伺う

A 動物の優れた能力を体感できる展示や、飲食、休憩施設の充実、バリアフリー環境の向上にも取り組む。チンパンジーの生育環境を再現したアフリカの森の整備、総合獣舎への飲食、休憩施設の新設を行うほか、園内坂道の勾配緩和や適所へのエレベーター設置など移動しやすい環境を整える予定。楽しみ、学べる杜の都の魅力ある動物園を目指す。(建設局長)



ポイント
60年という年月を経ているので、高齢化が進む動物たちの繁殖にしっかりと計画を策定し、頑張ってもらっております。園内のホッキョクグマは、平成22年から繁殖に取り組んできており、令和6年に産室の環境を改善して昨年の12月に国内では12年ぶりとなる双子の繁殖生育に成功しました。名前はうみ(オス)くんとそら(メス)ちゃんです。

6 令和7年11月の「ドラゴンクエストウォーク」で 市街活性化!

Q 令和7年に実施した際の経済効果と地元商店街からの評価を伺う

A 9割は県外からの参加で、期間中は市内の宿泊施設がほぼ満室、地元の関係者からも「大きな効果があった」と評価をいただいた。7億円の経済効果があったものと試算をしている。今後も実績を生かして、多くのファンを引きつけるイベントの誘致を図り、地域経済の活性化につなげて行く。(郡仙台市長)

ポイント
ドラゴンクエストは私もゲームに熱中した一人ですが、位置情報を使ったドラゴンクエストウォークは、ゲームは家の中などでやるという概念を壊し、外出して人と触れ合いながら楽しむという画期的な試みだと感じております。地域の活性化にもつながるので、これからもイベントの誘致を積極的に推進していただきます!

事務所住所 〒982-0001 仙台市太白区八本松1丁目15-23

TEL 022-249-0184 FAX 022-249-0194

携帯 090-8786-2576 E-mail heart@sasakishin.com

ホームページ・Facebook

プロフィール

- 仙台市議会 会派「自由民主党」幹事長
- 議会運営委員会 委員長
- 常任委員会「市民教育委員会」委員
- 調査特別委員会「子育て環境充実調査特別委員会」委員

詳細は
こちら

